

令和6年度財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

〔1〕 退職給付引当金

職員の退職給付にあてるため、退職金支給規定に基づき、要支給額により計上している。

〔2〕 リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引 リース物件の所有権が借手に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸取引に係わる方法に準じた会計処理によっている。

〔3〕 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税などの会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	21,160,000	2,000,000	1,120,000	22,040,000
国際会議準備積立資産	1,600,000		0	1,600,000
運営強化積立資産	257,850,000	9,500,000	0	267,350,000
創立記念積立資産	9,100,000	1,000,000	0	10,100,000
				0
				0
小 計	289,710,000	12,500,000	0	301,090,000
合 計	289,710,000	12,500,000	0	301,090,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対する額
基本財産	0	0	0
小 計	0	0	0
特定資産			
退職給付引当資産	22,040,000		22,040,000
国際会議準備積立資産	1,600,000	1,600,000	0
運営強化積立資産	267,350,000	267,350,000	0
創立記念積立資産	10,100,000	10,100,000	0
展示会等準備積立資産	0	0	0
小 計	301,090,000	279,050,000	22,040,000
合 計	301,090,000	279,050,000	22,040,000

4. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
ファイルサーバー富士通 PRIMERGYT 150S7	945,000	944,999	1
合 計	945,000	944,999	1

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額は、次の通りである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
金型関連及び成形関連の技術者・技能者教育育成を支援する助成金	(公財) 金型技術振興財団	0	759,000	759,000	0	
I T 導入補助金	中小企業庁	0	500,000	500,000	0	
合 計		0	1,259,000	1,259,000	0	